



富士河口湖町

議会だより



初めての教室で元気にあいさつ ―西浜小学校にて―

◆行政報告

富士山世界文化遺産の行方 ――― 2p

◆こういふことを決めました ――― 3p

◆町の予算はこう使われます ――― 4～5p

◆予算特別委員会 質疑応答 ――― 6～8p

◆ここが聞きたい 一般質問 ――― 9～11p

**3月
定例議会**

行政報告

するものであります。

さて、新年度予算の編成については、一月十五日から二月上旬まで精力的に取り組みました。町の財源の基幹となる町税については、県内で比較してみまると山梨市、都留市、上野原市等が四十億円台で推移しています。市に匹敵する税収となり、なかでも法人税の増収が見込まれ、今後引き続き産業振興と企業

で、町独自の保育料の軽減を低所得者や多子世帯、母子・父子世帯を対象に行うもので、これの影響額は前年度と比較すると約六百万から一千万の保護者負担の軽減を図るものであります。また、学校教育においては従来、小学校の少人数指導を三年生までとしておりましたが、新年度からは四年生まで持ち上げる方向で町単独の教諭配置を実施

億円台に対し十九年度においては、百十四億円台に納めることができました。また、今この時点から行政事務事業の見直しをはじめとして、職員各位の自己研修等における資質の向上にも期待し①予算がない②前例がない③制度がないと三ないを唱え、逃げることなく意欲的に取りくむことが住民サービスに繋がるものと確信しております。

「富士山世界文化遺産の行方」

富士河口湖町長 小佐野 常 夫



誘致等に取り組むことに意を強くいたしております。こうしたなかにあつても、特に経常経費の削減や補助金・委託料・備品購入費など厳しく見直し削減に鋭意取り組んできたところであります。

すること、更には富士ヶ嶺地域の地産地消支援事業として学校給食へ富士ヶ嶺産牛乳を提供することなどを予算化したところであります。

最後になりましたが十九年度の大きな課題として、「富士山世界文化遺産登録」問題があげられます。当該地域として調査研究に取り組むべく民間団体が既に立ち上がり財産区においても連合会を

昨年三月に上九一色村南部地域と合併し新生富士河口湖町となり、ようやく一年が経過いたしました。本町は富士山の周囲、約四分の一と五湖のうち四つの湖を有し、静かな自然環境に恵まれた広域な町となり、人口も順調に増加するなど町も着実に発展してきております。こうした経過のなか、先の山梨県知事選挙において横内新知事の誕生は、県下においては四万七千票余の得票差を持つて新知事が支持され、本町においてもダブルスコアの結果となりました。これは元より住民の皆さん、延いては議員各位のご協力からの結果であります。私も二十八市町村のなかにあつて、町村会長を辞し、キーワードとして「勇氣と信頼と信念」を持って町の将来と希望を見据えた決断でありました。本町にとつても今後、国あるいは県と一体となった行政進展がより以上に図れることを確信

一方では、児童保育において国の保育料徴集金基準額取り扱いの変更に町の基準も変ってきますが、これに合わせて子育て支援並びに少子化対策とし

しかるに、行財政全般にわたつてのこのようなメリハリを意識して積極的な財政運営を図り取り組むことが何よりも肝要であろうかと思うところであり、結果として十八年度当初予算の百二十六

中心として地域開発と遺産保護のバランスをとるため地元町村や業者と合意形成をする。二として芸術や文学作品を生む源泉となった展望地点や富士山の価値を裏付ける資産（富士五湖など）をより広く構成要素に盛り込む。を挙げております。いずれにいたしましてもゾーニング設定や規制の方向等に厳しく注目し、町民の皆さんのご意見をいただきながら慎重に対応していく必要があると思うところであります。



こういうことを 決めました。

1・2月臨時会
3月定例会

臨時議会は一月三十一日に開催され、次の議案が原案通り可決された。

○部分林存続期間の変更について (第一号)
精進字青木ヶ原の部分林について存続期間を向う三十五年延長するものである。

臨時議会は二月九日に開催され、次の議案が原案通り可決された。

○一般会計補正予算 (第八号)
観光ギャラリー・観光防災センター外構工事二千三百八十三万三千円、西湖いやしの里根場整備事業三千二百二十万円を翌年度に繰越明許するものである。

三月定例会議会は三月十二日から二十二日までの十一日間開催された。
定例会に提出された案件は規約変更等が九件、条例制定四件、一部改正四件、補正予算十五件、同意案件五件を審議し、全案件を原案とおりに可決した。

条例の制定・一部改正、規約の変更の主なものは次のとおりです。

規約変更

- ・山梨県市町村自治センター規約
- ・山梨県市町村総合事務組合規約
- ・山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約
- ・河口湖南中学校組合規約
- ・富士五湖広域行政事務組合規約
- ・鳴沢富士河口湖恩賜県有財産保護組合規約
- ・青木ヶ原衛生センター規約

・青木ヶ原こみ処理組合規約

条例制定

- ・行政改革推進委員会条例
- ・町民プール条例
- ・地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・副町長の定数を定める条例

条例の一部改正

- ・行政組織条例
- ・職員給与条例
- ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- ・高齢者体力づくりセンター条例

補正予算

○勝山財産区特別会計補正予算 (第一号)
歳入歳出に増減はなく、歳出の繰入金三十万円を増額し予備費を三十万円減額するものである。

○国民健康保険特別会計補正予算 (第四号)
歳入歳出の総額にそれぞれ一億九千二百八十三万円を増額し二十四億八千五百八十八万円とする。
歳入は療養給付費交付金五千万円、県補助金二千四百万円、繰入金一億三千三百三十八万三千円、歳出は保険給付費二億五千三百十六万七千円が主なものである。

○老人保健特別会計補正予算 (第五号)
歳入歳出の総額にそれぞれ一億六千七百七十九万円を増額し十七億九千二百四十七万八千円とする。
歳入は支払基金交付金千九百六十九万七千円、国庫支出金四千二百八十七万三千円、繰入金

金九千七百七十三万円、歳出は医療諸費一億六千七百万円が主なものである。

○介護保険特別会計補正予算 (第四号)
歳入歳出の総額にそれぞれ一億六千八十四万円を増額し十億七千四百六十七万九千円とする。
歳入は保険料四千四百七十八万九千円、国庫支出金千二百二十二万二千円、繰入金九千七百六十四万五千円、歳出は保険給付費一億五千五百三十四万三千円が主なものである。

○居宅介護支援事業特別会計補正予算(第二号)
歳入歳出の総額にそれぞれ二百三十一万三千円を増額し三千五百五十七万四千円とする。
歳入は繰入金三百六十二万円、歳出は予備費二百三十一万三千円が主なものである。

○船津公園墓地事業特別会計補正予算(第一号)
歳入歳出の総額にそれぞれ二百六万五千円を増額し千二百四十四万三千円とする。
歳入は使用料二百六万五千円、歳出は諸支出金で同額である。

○大石簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)
歳入歳出の総額にそれぞれ千四百三十二万円を増額し六千三百八十二万二千円とする。
歳入は諸収入千四百三十二万円、歳出は簡易水道費で同額である。

○一般会計補正予算 (第九号)
歳入歳出の総額にそれぞれ六千四百七十七万六千円を減額し百二十億八千二百十九万九千円とする。
歳入減は分担金及び負担金一億千九百三十八万九千円、歳出減は土木費二億五千八百八十六万四千円が主なものである。

平成十九年度一般及び特別会計予算は四・五ページに掲載してあります。

町の予算は、こう使われます。

平成19年度

予算総額は

114億8,250万円

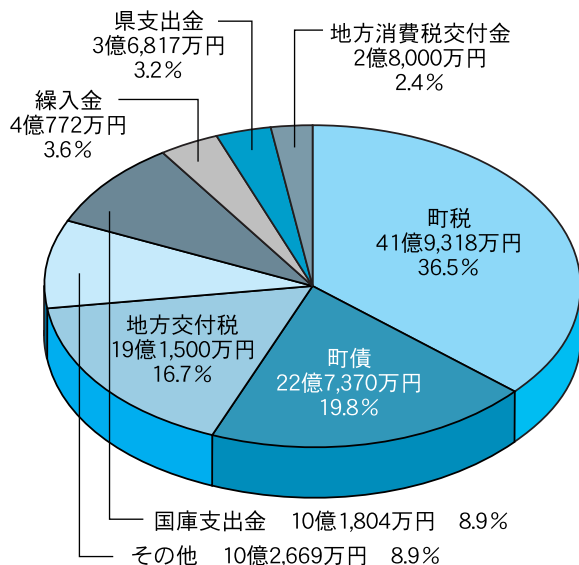
平成19年度特別会計予算総括表

単位万円・4捨5入

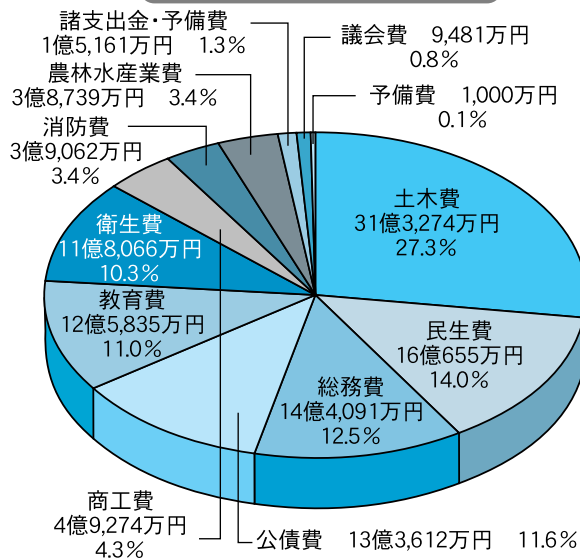
主 な 事 業		
建 設	消防・防災	教 育
		
河口湖インター線建設事業 1億7,584万円	防犯パトロール 345万円	特色ある学校づくり補助金 500万円
富士登山道線建設事業 2,200万円	富士五湖広域行政事務組合消防負担金 3億907万円	健康科学大学建設関連補助金 6,500万円
一般町道新設改良事業 5,733万円	消火栓新設工事 900万円	少人数学級及び複式学級解消町単独教諭配置 2,010万円
小立土地区画整理事業 2億3,557万円	分団詰所改修工事 504万円	河口湖南中学校負担金 1億2,922万円
総合公園整備事業 5億8,058万円	可搬式ポンプ購入 99万円	中央公民館改修工事 1,567万円
天上山公園整備事業ほか 3億7,130万円	防災備蓄倉庫整備 225万円	図書購入費 1,200万円
長崎山さくらの里公園整備 5,220万円	瞬時警報システム整備 400万円	自然共生事業委託 1,072万円
勝山富士見線拡幅整備事業ほか 1億9,720万円	防災行政無線整備 950万円	カヌー大会補助 285万円
木造住宅耐震診断委託 45万円		I V Vオリンピック準備活動費 300万円
		ステラシアターイベント実行委員会補助 1,700万円

会 計 名	予 算 額
船津財産区特別会計	4億1,272万円
小立財産区特別会計	5億7,426万円
大石財産区特別会計	2,887万円
河口財産区特別会計	8,576万円
西深沢外十二恩賜県有財産保護財産区特別会計	262万円
勝山財産区特別会計	8,128万円
長浜財産区特別会計	238万円
西湖財産区特別会計	1,351万円
大嵐財産区特別会計	1,983万円
青木ヶ原外七字及び小合山外七字恩賜県有財産保護財産区特別会計	65万円
精進財産区特別会計	168万円
本栖財産区特別会計	55万円
富士ヶ嶺財産区特別会計	54万円
大室山外三十字恩賜県有財産保護財産区特別会計	203万円
小立簡易郵便局事業特別会計	763万円
河口湖治水事業特別会計	5,248万円
国民健康保険特別会計	23億9,150万円
老人保健特別会計	16億1,113万円
介護保険特別会計	9億9,581万円
居宅介護支援特別会計	3,152万円
船津公園墓地事業特別会計	902万円
小立公園墓地事業特別会計	1,074万円
勝山墓地事業特別会計	1,489万円
大石簡易水道事業特別会計	4,045万円
河口簡易水道事業特別会計	3,511万円
足和田簡易水道事業特別会計	3,337万円
上九一色簡易水道事業特別会計	3億5,790万円
下水道事業特別会計	14億4,454万円
本栖下水道事業特別会計	1,230万円
精進特定環境保全公共下水道事業特別会計	5,620万円
温泉事業特別会計	3,946万円
特別会計 小計	83億7,072万円

歳入予算の内訳



歳出予算の内訳



一般会計の

議会・総務	福祉推進	健康増進	環境	農林	観光
					
議員報酬 (手当含む) 5,185万円	ホームヘルパー 派遣事業 1,233万円	高齢者体力づくり センター運営 管理 3,166万円	ごみ減量化推進事業リ サイクルフェア開催費 430万円	富士ヶ嶺ファーム フェスタ開催費 300万円	観光拠点・施設 整備事業 700万円
政務調査費 48万円	重度心身障害者 医療費及び自立 支援医療費扶助 7,320万円	温泉休養施設運 営管理 2,681万円	生ごみ処理機購 入補助 38万円	ミルクプラント 整備事業 2億5,300万円	観光イベント開 催事業 4,529万円
費用弁償 34万円	寝たきり老人介 護報償及び敬老 祝金支給 265万円	健康のまちづく り推進事業 161万円	花トピア推進事業費 1,796万円	遊休農地対策事業 481万円	ハーフフェス ティバル補助 700万円
議会だより印刷 194万円	配食サービス事業 372万円	老人保健推進事業 244万円	花のまちなみ景 観事業 100万円	水田農業経営確 立対策 153万円	国際観光推進事業 1,889万円
富士山世界文化 遺産負担金 316万円	老人クラブ活動 及び運営補助 614万円	乳児医療費事業 3,838万円	指定ごみ袋作成費 2,134万円	松くい虫被害木 伐採駆除 51万円	野鳥の森管理運営 868万円
広報誌・町民カ レンダー発行 1,298万円	ふれあい児童ク ラブ委託 1,278万円	山梨赤十字病院 建設・長期療養 型病床群病棟建 設負担金 8,639万円	リサイクル・リ ユースセンター 運営事業 1,493万円	有害鳥獣防護柵 設置 60万円	蝙蝠穴駐車場整備事業 3,325万円
標準地時点 修正率調査委託 396万円	ひとり親家庭医 療費扶助 576万円	予防接種事業 2,617万円	一般廃棄物収集 運搬処理委託 4,488万円	地籍調査測量 800万円	道の駅増築等整備事業 1,550万円
健康科学大学学 生宿舍助成金 819万円	児童館運営費 1,058万円	住民検診事業 5,248万円	粗大廃棄物搬出 処理委託 2,520万円	ふれあい広場整 備ほか 8,500万円	いやしの里創出事業 1億6,650万円
公債費 13億3,612万円	児童手当支給事業 2億1,570万円	結核予防事業 327万円	不燃処理施設等 補修工事 700万円		梨川もみじ公園整 備、大石観光交流 センター整備 1億2,500万円

予算特別委員会

質議応答

委員長 渡辺 武彦
副委員長 熊谷 義行

歳出削減に取り組む

投資と効果に配慮

平成十九年度当初予算は、町長の施策方針の説明を受け予算特別委員会に付託された。

委員会は、三月十四日から十九日までの六日間に亘り平成十九年度一般会計及び三十二特別会計予算を慎重に審議を行った。

一般会計当初予算は、歳入歳出百十四億八千二百五十万円で前年度と比較すると金額で十一億四千七百五十万円の減額、比率で九・一％の減少となっている。

主な歳入は、町税四十一億九千三百二十万（前年度比十・六％増）

地方交付税十九億千五百万円（一・三％減）、国庫支出金十億千八百四万円（二十・七％減）、町債（起債借入額）は二十二億七千三百七十万円（二十九・七％減）である。

主な歳出は、人件費十

八億九千六百九十三万円（三・三％増）、公債費（起債償還金）十三億三千六百十万円（十二・八％増）普通建設事業費は、二十九億四千八百七十七万円（三十二・二％減）となっている。

主要事業は、富士ヶ嶺地区の特産品である牛乳の出荷安定に向け、ミルクプラント整備費として二億五千三百万円、インター線新設一億七千五百八十四万円、二カ年での町営プール建設五億八千五十八万円、小立地区区画整理二億三千五百五十六万円、まちづくり交付金十一億五千万円などを計上している。

また、経常経費の削減とともに補助金、委託料、備品購入費なども見直し削減に努めた。なお、主な事業の質疑応答については次のとおりである。

一般会計

総務課関係

質問 合併特例債の中の事業が地方交付税に算入されるのか。

財政係長 平成十八年度実績で交付されている部分について合併による特例分として加算される。本来は算定上もう少し全国的に落ちこんでいるところを、当町では国の予算ベースの下落割合より上昇している。

企画課関係

質問 企業立地の現状は。企画課長 企業立地推進担当がおり県、人伝え、企業からの照会などにより、情報を持つているが環境に配慮した企業を選択するなど具現化には時間が必要である。企業の調査を行いながら町の有利性になる企業を選んでいく考えである。

質問 健康科学大学の学生用宿舍助成金は本年一月で終了するののか。

企画課長 平成十六年三月制定の学生宿舍設置促進条例で大学の四年間を見越した固定資産税の優遇処置で各年度建設の構造物の木造三年と非木造五年が対象で本年の一月一日が最終となり、前記税の優遇処置は最後の五年目の平成二十三年に切れる。

足和田出張所関係

質問 足和田コミュニティセンター管理業務の内容は。

出張所長 管理業務を民間業者に委託しており、庁舎の清掃と土日の催事会議等で使用時の開け閉めの対応をしている。来年度以降も継続していきたい。

町長 旧村との継続的なものがあるが検討をする。

上九一色出張所関係

質問 上九一色コミュニティセンター駐車場工事の内容を示せ。

出張所長 農協から借りており、入口が二ヶ所狭いところがあり、スクーターバスと町営バスの出入りに支障があるので拡幅整備と傾斜の改善を行う。

質問 コミュニティセンター案内看板が見づらいが。

税務課関係

質問 現況は農地だが課税は十年間宅地課税されている土地があるが。

税務課長 現況調査により過誤課税であったので、三年間分は還付した。今後この様な事のないように取り組みを行う。

質問 税収は増えているが町税、固定資産税等の滞納率は。

税務課長 滞納については税目により多少の違いがある。滞納繰越分は確実に収納が見込まれる分を最低目標に計上した。

質問 滞納分の不納欠損処理をしないのか。

税務課長 税の公平性、公正性上不納欠損は避け

たいが地方税法規定に基づき現在すでに不能欠損処理は行われている。

質問 固定資産税の収納率をあげる必要があるが。

税務課長 滞納整理の組織的な強化、収納対策本部を活用し新年度に向けて研究していく。

質問 新年度県から三名の滞納整理職員が派遣されると聞いているが。

税務課長 予算を積算した段階では話はなかった。県からは三月に入り内示があった。

質問 今年度一・二月のホテルの稼働率が八十%位だが入湯税は増えるのか。

町長 旅行形態が大幅に変わり過去の団体旅行から個人グループに移行した。景気も上向きであり期待できるが昨年並みの見込みである。

総合窓口課関係

質問 外国人登録事務委託金の内容を示せ。

窓口係長 外国人登録事務に係る、国からの委託金である。

総合窓口課長 町の登録者は二百十人位で就労と

か結婚している方がいる。

健康増進課関係



▶ トラソテラピー施設

質問 体力づくりモデル地区活動の内容は。

健康増進課長 健康まちづくりのモデル地区事業は船津、大石、河口、足和田地区で行っている。

新年度で浜町、富士ヶ嶺を予定している。ボランティア等の協力により自立を図り、将来的には高齢化地区などへ移行していく。

質問 温泉休養施設と高齢者体力づくりセンター費の内訳と各財産区の繰入金は。

健康増進課長 両施設の利用者の使用料千六百八万円、各財産区からの繰入金千九百万円、一般財源二千三百万円、支出では温泉休養施設二千七百万円、高齢者体力づくりセンター三百万円である。

町長 ろ過機と機械は町一般財源で、運営管理費は負担を一般財源と財産区で分け合っている。

環境課関係

質問 船津リサイクルセンター駐車場への借り上げの内容を示せ。

環境課長 リサイクルセンターに隣接する民有地二百二十三坪の借り上げ料八十万三千円である。

学校教育課関係

質問 特色ある学校づくり補助金五百万円の詳細を示せ。

教育長 地域の知識豊富な方とか高い技術を持った方を学校に招き、地域の自然の指導あるいは文化の指導、花づくり、農作業、縄跳びによる体力

増進など各学校が特色ある事業を実践していく。

質問 健康科学大学リハビリクリニック運営補助金三千万円の使途目的は。

町長 住民の健康増進施設の拠点に今後取組む予定になっていて、院長他十人前後のスタッフで運営されており、開所当初は負担が相当かさむことも考慮し補助する。

平成十五年度からの健康科学大学の補助金も十九年度か二十年度で完了予定なので、この新施設に別な補助を考えている。高齢者の介護健康増進施設という方向で県への働きかけ及び本町を中心とした郡内エリアの拠点としていく。

質問 小中学校補修工事の内容は。

学校教育課長 船津小学校の自動滅菌機、受水・高架槽の補修。大石小学校トイレのガラスとプールの天井ガラスの修理工事である。

質問 町単教諭配置の予定数は。

教育長 今まで児童数三十人を超えたクラスに一名で大規模校が対象。小規模校では、複式学級が

必要とされる学校に配置してきた。新年度からは四年生も対象にしていく。

船津小が三、四年生一名ずつ二名、複式学級では精進小が一名、富士豊茂小が一名、あと教育センターに代替一名の計七名である。

質問 河口湖北中学校プールの状況は。

町長 現状のプールを改修しても地盤が軟弱で極めて危険な状況であり、現在地への投資は困難と思う。当面河口小学校と兼用ということで教育委員会に求めている。

教育長 町民プールが完成した際には優先的に使用できるような形で進めていく。

農林課関係

質問 畜産業費二億六千四百五十九万七千円の中の建設費は。

農林課長補佐 合併関連で牧場公園の建設があり、その中で牛乳、乳製品の加工施設の効率性等を考慮し富士ヶ嶺地区で検討した。清里にある類似施設を参考に、搾った牛乳を殺菌しパック詰するも

必要とされる学校に配置してきた。新年度からは四年生も対象にしていく。

ので日量五トン想定している。内訳は施設工事として一億千五百万円、原乳の受け入れライン、ヨーグルトの製造ライン等で一億二千五百万円である。

質問 ミルクプラントの先進地調査等は行っているか、また乳製品の見通しは。

農林課長補佐 牧場公園については基礎調査をコンサルタントに委託し、その中で同行したのが千葉県の南房総市等とマザー牧場の牛乳、乳製品施設など、いくつかの先進地視察を行っている。乳製品の見通しについては、概算予算を出したが、三月に上九一色地域審議会を開催し概要を地域の皆様に説明したところであり、新年度に地域の酪農家と消費者の窓口担当者を含めたミルクプラント建設の検討委員会を立ち上げ、ブランド化した場合の適当な価格を目指すものである。

質問 有害鳥獣駆除報償費五十五万円ほどの程度の駆除を考えているか。また、猿被害の対策は。

農林課長 猟友会への報

償費で、イノシシの農作物被害が多い春先に被害が増大するので、わな、檻による捕獲と、場所により銃を使用して駆除を行う。猿については捕獲が難しく被害を減らす方法としては、物理的に畑を守るとか新しい電柵の改良など、生産団体レベルを通じて検討する。

観光課関係

質問 公有財産購入の紅葉公園二千五百平方メートルの内容と今後の見通しは。

観光課長 公園自体の面積で六千平方メートル位あり年次計画で民有地を購入する。二千五百平方メートルで九千万円を予算計上しており、今後も河口財産区、自治会と打ち合わせを行いながら整備していく。

質問 富士山ビッグウォークの事業内容は。

観光課長 富士山周辺を一年間通して一周するもので、日本富士山協会が主体となり、富士五湖観光連盟が事務局で、毎月実施している。当初は五泊六日で行っていたが、途中で日帰りになった。十七年の反省で宿泊産業への影響もあり、宿泊を伴う運営の提案を主催者に伝えていきたい。

質問 ミルクプラントの供用開始の時期は。

農林課長 十九年度から事業に着手し、二十年度から運用開始の予定である。

の皆様のご理解により五千平方メートル借用しており、一時的に集中し混むことは考えられず、今の駐車場で対応が可能である。

質問 コウモリ穴、道の駅、いやしの里管理・運営委託料の何割が人件費か。

観光課長 コウモリ穴の千百万円については、入場券と物品販売、施設管理を含めて八割から九割が人件費である。道の駅の千百万円では、同様に清掃管理も芝生広場を除いて同割である。いやしの里では、三千五百八十三万円で、施設管理が中心で昼夜警備、駐車料金の徴収、入場券の販売などの委託を除き六割から七割が人件費である。

質問 管理・運営委託を単年度で契約している訳は。

観光課長 全部委託ではなく、指定管理者方式はとれない。業務形態と費用見積上からも委託料の正規な把握に努め現行の契約で行う。

質問 フィッシングカレッジの補助金は。

観光課長 運営補助金で

七十万円、生徒の補助金として一人一万円で二十五万円である。カレッジには現在五十名ほどおり、三十名位毎年入学しているが、協定で住民票を町に移した場合に補助するものである。

質問 いやしの里づくり基金積立金九百十万円が当初の金額と違うが。

観光課長 当初の千五百万円は、二十一年度に全面的に仕上がった時に必要で、来場を二十万人見込んだ段階では、九百十万円が相当である。将来的には千八百万円を積みたいと考えている。

都市整備課関係

質問 河口湖南部地区整備事業費千八百四十万円の内、委託料百万円の内容は。

都市整備課長 小立区画整理事業地内の計画素案策定のための委託料である。

質問 生垣設置補助金は合併した地区も対象になるのか。

都市整備課長 公道に面して植栽するもので旧河口湖町から制度があり、

勝山、足和田、上九一色についても対象である。

生涯学習課関係

質問 サッカー場の利用状況、年間稼働率と地域の人の利用は。

社会体育係長 メインとサブの二ヶ所があり、メインが年間七十日、サブが五十三日で、稼働率は双方合わせて十七%である。地元の利用状況は九十%である。

質問 交流センターに相談事で行く場合、通夜、葬儀があり適当な場所ではないと思うが。

町長 葬儀があつた場合若干ご不便かと思うが、運用面で大きな支障はないと思うので我慢をいたしたい。

質問 国際交流事業の内容について。

生涯学習課長 町内に住んでいる外国の方が、不自由な生活を少しでも解消できるように地元住民との交流を深めたり、外国と日本の生活、衣食、文化、風習などを相互に紹介するものである。

質問 精進湖力ヌー大会が開催されるが参加状況

は。

生涯学習課長 七月の全国少年少女大会は五日間で千人、八月の全国ジュニア大会は四日間で三百人から四百人が参加する予定である。

文化振興局関係

質問 野外音楽堂の使用料の詳細な説明を。

文化振興局長 野外音楽堂は大ホール、小ホール、ピアノ、付帯設備の使用料で二十九万八千円の見込みである。

質問 美術館の植木類の手入れ等と環境、美観の整備は。

町長 建物周辺の枝落とし等は財団の職員などとしており、道路側は様子を見ている状況である。

総括質疑

質問 税の滞納整理と収納の対策について。

町長 総務課に滞納処理班を配置したことで、一定の成果があつた。新年度においても総務省の外郭団体に職員の派遣をして、滞納処理の向上に取り組む所存である。

ここが聞きたい!

いっばん

質問



大石 真六 議員

小立保育所の 駐車場は

質問 小立保育所の駐車場は、ごみの集積所や歩道橋などがあり危険な状況にある。安全な広い駐車場を確保することができないか。また、他に何らかの計画があるか。

福祉推進課長 小立保育所の正面の駐車場については、財産区で購入し、その後、東側については、民有地を借用しているのが現状である。新たに、保育所周辺に駐車場を確保することは立地場所からしても困難な状況である。

このため、保育所では駐車場を安全に使うためのルールをつくり、児童を保育士に預けたらすぐに車に戻り長時間駐車しない、車の進入方向を一定にする

などとして車がスムーズに流れるように徹底している。駐車すると言うより児童の送迎の乗降場所として利用していただけでなくとともに、児童への安全教育の指導を徹底していく。

町長 小立地区の区画整理事業が着手の運びとなり、これが完成すると概ね千五百五十人位、時には大規模商業店舗も予想される。今後、十年・二十年先を見通して人口が最も伸びるところではないかと思っている。開発状況を見ながら地区と協議を行い、区画整理事業の中に公共施設用地を確保

する予定である。

粗大ごみの対策は

質問 粗大ごみの不法投棄が社会問題になっていくが対策は。

環境課長 不法投棄の対策として、県と市町村において常勤の廃棄物監視員の配置、また、民間ボランティアや役場職員の監視パトロール等を行っている防止に努めている。

粗大ごみとしてのテレビ、洗濯機、エアコン及び冷蔵庫については、国で定めた指定取引所で行か処理等取り扱うことができない。

処理方法としては、買い替え等で家電販売店に依頼することができ、この場合はリサイクル料金と運搬料が必要となる。

町では、リサイクル法の規制強化により廃棄物としての不法投棄が見受けられるため、家庭から出る家電リサイクル対策四品目やタイヤなどの特別な廃棄物以外の粗大ご

みについては、町塵芥処理場において月曜日から土曜日まで無料で受け入れている。また、年に一度地区ごとに日を定めステーションで粗大ごみの収集を行っている。

家電四品目については、直接指定取引場所や家電店に依頼出来ない方のために、郵便局で家電リサイクル券を購入していただき、リサイクル券が貼つてある廃棄物をお持ちいただいた場合は、条例で定めた運搬料をいただく指定取引場所へ代行運搬を行っている。

不法投棄に対しては、パトロールの強化と不法投棄は犯罪であるという認識をもっていたとき、廃棄物は所有者の責任で適正に処理していただくことをお願いする。

馬場ちりの 道路貫通は

質問 小立地区に近い富士御室浅間神社境内においての馬場の一部を通る道路の貫通工事は。



馬場ちりの道路

建設課長 町道四千一号と四千二号の間にある富士御室浅間神社社有地を分断する道路については、古くから馬場ちりにおいて流鏑馬行事が行われており、過去において神社側と交渉を行った経過があるが文化財保護の観点から不調に至っている。この交渉については、今後も継続して行きたい。

県道青木ヶ原船津線へ抜ける町道四千二号は、幅員が狭くカーブが連続しており通行ににくい。

このため道路拡幅改良については、地権者の承諾が得られるようであれば検討して行きたい。



渡辺余緒治議員

上九一色村南部との合併により「富士山と四つの湖を持つ」新町が誕生して早一年経過し、この間、新町づくりのための事業が着々と実行されてきています。

そんな中昨年六月、北海道夕張市が財政破綻し「財政再建団体」に移行、市民は最低限の住民サービスを強い

られています。最近町民の間でも「我が町は大丈夫かな」と言う声を聞くようになり、町の財政や事業に対する関心も高まっています。

改めて「執行機関をチェック・監視すべき議会としての議員の責任の重さ」を痛感しました。

「公の施設」の維持管理と運営

一ヶ月の運営管理総経費は、約四百〇五百万円

充実を図る。

地域の民芸・工芸等公募し

利用計画は地域文化創造・体験工房であり、地

観光課長 まちづくり交付金事業計画に基づき平成十九年二棟・二十年三棟・二十一年二棟の計七棟建設する計画である。

質問 町の財政状況は。総務課長 財政力の指標とされる各数値は県下他市町村と比べても良い。

質問 「西湖いやしの里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

質問 「西川いやし」の里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

質問 「西川いやし」の里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

質問 「西川いやし」の里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

質問 「西川いやし」の里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

質問 「西川いやし」の里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

質問 「西川いやし」の里根場」に今後増築予定の茅葺建物七棟は全て建設するのか、維持管理費等が町財政を圧迫することが懸念されるが。

（職員の人件費除く）である。入場者数は、昨年七月〜今年二月で約十二万人となっている。

山梨県の観光動態調査によると、一人当たりの平均観光消費額は八千七百二十八円となっており観光資源として地域に貢献しているものと考えられる。

町長 現在「まちづくり交付金事業」は、各地区合計で約六十七億円規模の事業を国から認可され、事業額の四十％が交付される有利な事業であるが、期間が五年間という縛りがある。事業によつては残りの負担分六十％に合併特例債を併用している。また、基盤整備等も含めながら運用していく。

今の観光動向は、「着いたところで何をするか」の着地型の企画旅行に転換している。富士河口湖町は、観光立町であり、新しい商品展開をしながらバージョンアップを考えていくことが何よりも重要であると思っている。

質問 「こども未来創造館」は、県産木材を使用したすばらしい木造建物であり、町民の誇れる施設としたいと考えるが、運営状況は。

生涯学習課長 昨年七月のオープン以来二月まで、子供さんを中心に二万七千七十九人に利用されている。

運営は、ボランティアグループのFKハンズや中高大学生に支援していただき、児童厚生員二名・社会教育係三名・アルバイト一名が随時対応してイベントや事業を展開している。

また、必要な備品や遊具関係は、利用者やボランティアの方々から要望を聞いて手配中である。

十九年度の消耗品の予算は、本年度の倍額を計上した。諸事業を実施し更に多くの町民に利用していたきたい。

入札改革への取組み

質問 「談合は税金の搾取であり犯罪だ」と言われているが、町の入札改革への取組みは。

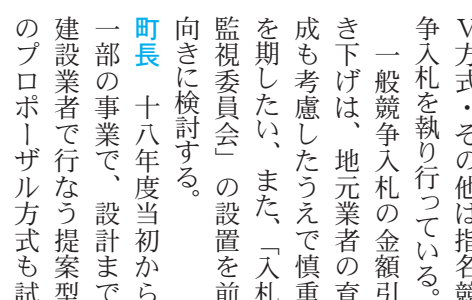
管理課長 当町では、五億円以上は一般競争入札・一億五千万円以上は公募型指名競争入札でJV方式・その他は指名競争入札を執り行っている。

一般競争入札の金額引き下げは、地元業者の育成も考慮したうえで慎重を期したい、また、「入札監視委員会」の設置を前向きに検討する。

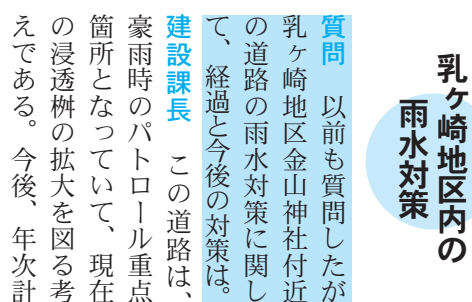
子ども未来創造館にて



子ども未来創造館にて



子ども未来創造館にて



シャッターポイントマップの作成

質問 写真撮影のポイントマップ作成とポイント地区整備について。

観光課長 当町においては、国土交通省の富士見百景に相当数のポイントがエリアとしても登録されている。

「写真講師の会」やアマチュアの写真愛好家の方々と協議しながら、今後、ポイントマップの作成を検討していきたい。

町長 「富士山世界文化遺産」と併わせ、方向付けしていきたい。

乳ヶ崎地区内の雨水対策

質問 以前も質問したが乳ヶ崎地区金山神社付近の道路の雨水対策に関して、経過と今後の対策は。

建設課長 この道路は、豪雨時のパトロール重点箇所となっていて、現在の浸透櫛の拡大を図る考えである。今後、年次計画的に進めていく。



古屋一哉 議員

行政評価 制度について

県内の市町村の情報公開条例設置状況は、驚くことに富士河口湖町を除く全ての市町村で制定済みである。どうして我が富士河口湖町だけ、制定が遅れているのか。また、今後の町の情報公開条例の制定に向けての取り組み、考え方は。

総務課長 本町でも旧河口湖町からの課題としてきたところである。合併後新町において整備すると協議がされてきた。二次にわたる合併が昨年三月に完了し、今日に至っているが、まず、その基本となる行政文書の能率的で、かつ、効果的な管理方策が必要である。条例の制定に向けて調整作業を進めていることはもちろんである。現時点は、本町の事務事業や施策等、町の必要な情報については、町のホームページ、広報誌等を駆使している。その他、CATV、報道機関等のご協力をいただきながら、あらゆる告知情報を町民の皆さんに提供をしている。

亥年選挙年のためか、行政、議会への世論の関心も高く、官製談合問題、議会のチェック能力の重要性、首長、議員、職員の資質、モラルの重要性等々の多くの記事が新聞紙上でも掲載されている。私なりに、議会のチェック機能としての重要性を再認識するとともに、さらに研究し、襟をただし、真摯に議員活動に励んでいく決意をあらたにしたところである。

情報公開 条例について

質問 町政に関するさまざまな情報やまちづくりに対する考え方などが、町民に十分に提供され、説明されなければならぬ。町政の諸活動がすべての町民に開かれ、公正でわかりやすいものとなるよう、情報の公開と共有化が必要である。山梨

一般的には「行政活動を一定の基準・視点にしたがって評価し、その結果を改善に結びつける手法」と定義されている。要するに、やりつ放しにしてはいけないということである。多くの自治体は「計画し、予算を確保し、事業を執行する」ことには熱心であり、「結果を評価し、次の計画へ反映させる」ことが疎かになってきた部分があり、財政破綻、民意と遊離した事務事業、不透明な政策形成過程等々の行政に対する様々な諸問題として指摘されるようになってきている。大きな視野にたつての行政評価制度導入について、町当局の考えは。

小泉評価委員

今年ISO9001を導入する中で、それと併行して行政評価を導入するには、職員への負担が大きく意欲へも影響を及ぼすという判断で、ISOの取得承認後に取り組むというふうなスケジュールを組んでいる。ISO9001なども、会社がお客様に提供する製品とか、サー

ビスの品質を確保することにより、お客様に満足していただくというシステムで、これも民間の一つのノウハウです。これから取り組もうとしても、行政評価についても、コストに対する意識や結果重視、成果重視という考え方はやはり民間の経営手法である。これらの制度導入について、民間での経験を生かして組織の中にしっかりと定着していくように努力していきたい。

いじめ不登校 問題について

質問 昨年十二月定例会での文教社会常任委員会において委員より、町におけるいじめ、不登校の実態は、という質問があり、教育長より今のところいじめはゼロであるとの答弁があり驚いた。いじめとは、根が深いものであり、表になかなか現われないから難しい問題であると考え。不登校の相談が教育センターに多く寄せられているのが現状であり、いじめが原因による不登校も何件かはあるかと推定でき。現場の先生ひとり一人に、いじめ、不登校

問題に対する早期対応の重要性の認識を要する。また、それと同時に、いじめ、不登校問題の原因は様々であるだけに、ケースに応じては地域の関係機関とも連携し、対応していくことも必要だと思われる。そのためには、個々の教員任せにするのではなく、学校全体での取り組みや、必要に応じて教育委員会も係わり組織的に対応していくことも必要である。町教育委員会のいじめ、不登校問題の解決へ向けての今後の対応について、考えを伺う。

教育長

問題解決のためには学校としてできることを継続しながら、状況に応じて児童相談所や福祉事務所、病院、警察等の外部機関とも連携し、それぞれの立場でできることを検討し、社会全体で支援する体制を進めていきたい。教育委員会は管下の学校に対し、いじめや不登校の未然防止について積極的に指導していく所存である。

USBメモリ等の セキュリティ 対策について

質問 山梨県警は、三月

初旬に、外部記憶装置「USBメモリ」に保存した大量の捜査資料が外部に漏れたとして、事実関係の調査を始めたことが公表された。県警でもデータが外部に漏れることを考えると、町においても緊急に、さらに前向きにUSBポートなどの大容量記憶装置の接続防止について人的対策を含め、技術的な対策を検討していく必要があると考えるが、町の対応について。

企画課長 各職員用に配付したパソコンのUSBポートについては、マウスやテンキー、またデジタルカメラ等のUSBポートの利用もあることから、USBメモリ等の使用制限の技術的な措置は施していない状況である。

経済社会の情報化の進展に伴い、官民を通じてコンピュータネットワークを利用して今後ますます個人情報処理は拡大していくと思われることから、情報資産管理対策やセキュリティ強化、情報漏えい対策など個人情報の利用に関する社会の信頼を高めるため邁進していきたいと考えている。

1月

- 7日 成人者のつどい
- 30日 議会運営委員会
町村議会正副議長・委員長研修会
- 31日 第1回臨時議会

2月

- 5日 全員協議会
- 9日 議会運営委員会
第2回臨時議会
- 22日 全員協議会

3月

- 6日 議会運営委員会
- 12日 3月定例会本会議 (条例・補正予算)
全員協議会
- 13日 本会議 (一般質問)
議会運営委員会
- 14日～19日
予算特別委員会
- 20日 全員協議会
議会運営委員会
- 22日 予算特別委員会
3月定例会本会議閉会
- 26日 富士河口湖町観光立町推進シンポジウム

訂正

第13号6 ページ産経土木常任委員会報告中「掘削工事」は「拡幅工事」の誤りでした。お詫びして訂正します。

▶大焚火



議会を傍聴しましょう!!
次の定例会は6月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には、注意事項が掲示されています。

編集後記

上九一色村南部地域と合併し一年が経過した。富士河口湖町議会の平成十九年度の予算審議が行われた。町の財源の基幹となる町税は山梨市、都留市、上野原市等に匹敵する町税が見込まれている。

統一地方選のあわただしい中に、議員は住民の要望を伝え、町の仕事を承認するパイプ役からチェック役になって欲しいという声に、議会だよりも一役を担いたい。

議会だより編集委員一同

大嵐に生まれ 育って半世紀



生まれた地は大嵐、誕生は昭和三十年、足和田村と同年だ。「足和田村の誕生から今年

で何年目か。」の問いに即答ができた。自身に年齢を言えばよかった。わずかではあるが小さな誇りだった。その足和田村も富士河口湖町となり四年目が来ようとしている。

小さな頃より毎日富士山を仰ぎ見て、毎日のように元気をいただいている。この大嵐地域の環境が今の自分を育ててくれたそんなことをふと思うような年齢になりました。人生で大嵐を離れたのは大学時代四年間、地域に、仲間に、家庭



に充実した毎日を送っています。大嵐地区では子供関係の役員をしています。主な仕事は地域で行われる行事の手伝いです。天神社の春祭り、夏のラジオ体操、大嵐小大嵐区合同運動会、親子レクリエーション大会など様々です。大変ではありますが子供たちの笑顔に支えられます。役員のなり手不足も現実問題ですが、子供たちの屈託のない笑顔が自分の喜びかなと思ひ、これからも自分でできる範囲で地域、学校と

協力し、元気な大嵐つ子を育てていければ素晴らしいと思います。すこし気がかりなのが、地域の中心である大嵐小学校の児童減少と旧部落のことです。大嵐小学校は町営大嵐団地効果もあり今後児童数がどんどん伸びていくとのこと。

もう一つは県道北側旧部落の過疎化、現在住居もまばらな状況、半世紀前の活気あつた時を思い出します。

大嵐八五九―二番地
三浦 勝一